

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 12月

平成27年12月1日の推計人口 1,375,517人
世帯数 571,841世帯

参考：H22.10.1現在国勢調査総人口：1,426,779人、
世帯数：558,660世帯

1 推計人口

平成27年12月1日現在の推計人口は、
1,375,517人で、前月(1,375,802)に比べ285人の減少となった。

市部では大村市(102)、諫早市(35)、島原市(10)の3市で増加し、五島市(74)、長崎市(55)、壱岐市(51)、佐世保市(49)、対馬市(42)、南島原市(37)、西海市(34)、雲仙市(24)、平戸市(16)、松浦市(7)の10市で減少した。

郡部においては、長与町(68)、佐々町(16)、波佐見町(4)の3町で増加し、時津町(48)、新上五島町(36)、東彼杵町(27)、川棚町(17)、小値賀町(3)の5町で減少した。

自然動態は、出生数875人、死亡数1,437人で562人の減少、社会動態は、転入者数2,751人(県内転入を含む)、転出者数2,474人(県内転出を含む)で277人の増加となった。

2. 世帯数

平成27年12月1日現在の世帯数は、571,841世帯で前月(571,666)に比べ175世帯の増加となった。

(注)

異動人口推計 = H22国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

本月分の推計人口は平成27年10月1日現在の国勢調査人口等基本集計が公表されるまでの暫定値である。

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…10月

1人当たり現金給与総額 247,522円
対前月比 0.7%減少
対前年同月比 0.2%減少

1 賃金

10月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額247,522円で、前月に比べ0.7%減少し、前年同月に比べ0.2%減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は246,213円で、前月に比べ0.2%増加し、前年同月に比べ0.4%増加した。

特別給与額は1,309円で、前年同月に比べ、1,538円減少した。

2 労働時間

10月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は161.6時間で、前月に比べ3.9%増加し、前年同月に比べ2.5%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は148.6時間で前月に比べ4.0%増加し、前年同月と比べ2.9%減少した。

所定外労働時間数は13.0時間で、前月に比べ3.2%増加し、前年同月に比べ2.3%増加した。

3 雇用

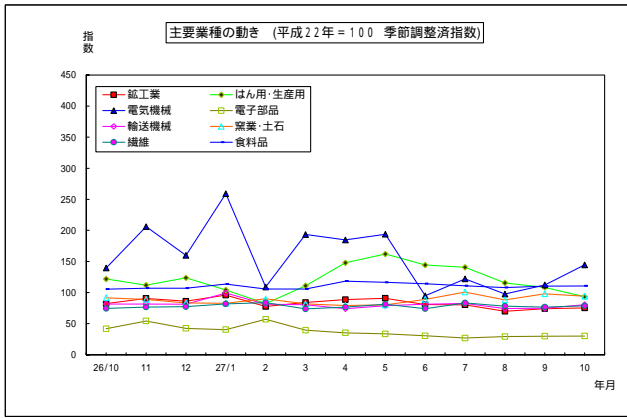
10月の常用労働者数は212,058人で、前月に比べ0.1%増加し、前年同月に比べ1.2%減少した。

【鉱工業生産指数】……………10月

平成27年10月の鉱工業生産指数

(平成22年=100)

区分	季節調整指数	前月比	原指数	前年同月比
		(%)		(%)
長崎県	75.3	1.6	78.7	9.4
九州	103.5	3.0	106.3	2.0
全国	98.8	1.4	100.3	1.4



平成27年10月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が75.3で前月比は1.6%の増、原指数は78.7で、対前年同月比は9.4%の減となった。

業種別にみると、電気機械工業、輸送機械工業、繊維工業、電子部品・デバイス工業、食料品工業など8業種が上昇し、はん用・生産用機械工業、窯業・土石製品工業など5業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇に寄与した主な品目
電気機械工業	28.8	1.9	交流発電機
輸送機械工業	7.8	2.0	修繕船
繊維工業	2.3	4.5	織物製下着、補整着、寝具類
電子部品・デバイス工業	1.0	29.9	シリコンウエハ
食料品工業	0.4	4.1	アルコール

主な低下業種

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	低下に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	13.8	21.8	ボイラー
窯業・土石製品工業	4.3	1.2	生コンクリート

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 11月

総合指数(H22=100) 103.4
 対前月比(%) 0.3
 対前年同月比(%) 0.9

平成27年11月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成22年を100として、103.4である。

前月比は、0.3%の下落で、下落要因は「食料」の1.5%、「交通・通信」の0.1%、「教養娯楽」の0.4%であり、主な上昇要因は「被服及び履物」の+1.7%である。

前年同月比は、平成27年8月は+0.5%、9月は+0.4%、10月は+0.8%と推移した後、11月は0.9%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は103.6であり、前月比は同水準、前年同月比は0.7%の上昇であった。

(前月との比較)

上昇した費目

光熱・水道	+0.1%
家具・家事用品	+0.6%
被服及び履物	+1.7%
保健医療	+0.4%

下落した費目

食料	1.5%
交通・通信	0.1%
教養娯楽	0.4%
諸雑費	0.1%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…… 11月

消費支出(一世帯当たり) 314,655円
 前月比 29,539円減(8.6%減)

平成27年11月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は314,655円で、前月比8.6%の減。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は98.3%であった。

主な支出内容	支出額(円)	前月比(%)
食料	76,146	2.4
住居	45,945	129.6
光熱・水道	20,524	0.6
交通・通信	25,545	49.2
教養娯楽	22,771	17.2

(注) この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。